

エアセンサのエア消費量

新型のスイングクランプmodel CTM、リンククランプmodel CLM、ワークリフトシリンダmodel CNBのセンサバルブはポペット構造のため、気密性に優れエア漏れはごく微少です。また、検出距離が短く、低圧でも確実に動作するため、エアセンサをオリフィス径の小さいモデルに変更することで、エア消費を大幅に削減することができます。(エアセンサは低圧で検出距離の短いものの方がエア消費量が少なくなります。)

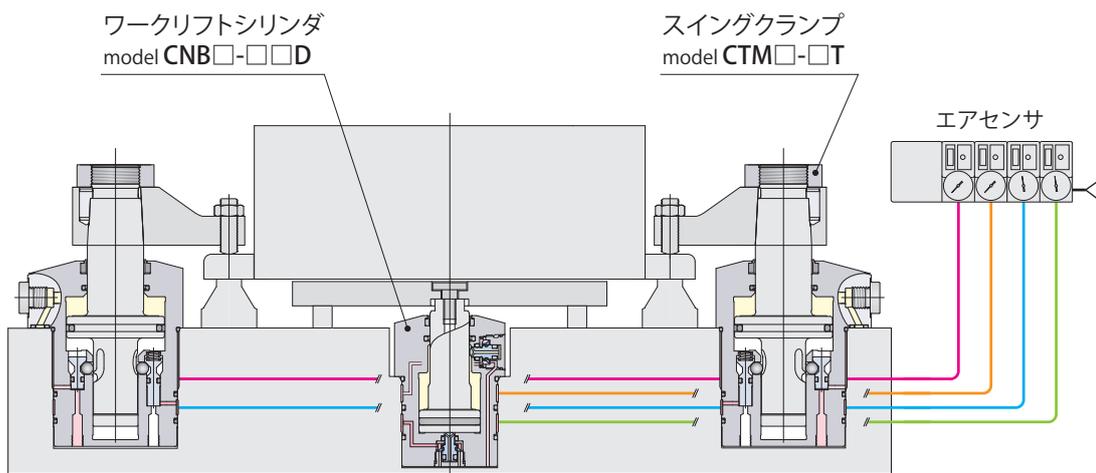
エアセンサ1個当りのエア消費量

(1日16h/年間250日)
(エア単価2円/m³)

モデル		エア圧力 (MPa)	消費量 (ℓ/min)	年間エア消費量 (m ³)	年間エア使用料金 (円)
CKD	GPS2-05	0.1	9	2,160	4,320
		0.2	14	3,360	6,720
	GPS2-07	0.1	15	3,600	7,200
		0.2	24	5,760	11,520
SMC	ISA3-F	0.1	3	720	1,440
		0.2	5	1,200	2,400
	ISA2-G ISA3-G	0.1	8	1,920	3,840
		0.2	12	2,880	5,760
	ISA2-H ISA3-H	0.1	15	3,600	7,200
		0.2	22	5,280	10,560

ISA3-H：エア圧力 0.2MPa で使用 を
ISA3-F：エア圧力 0.1MPa で使用 に換えると

年間、センサ 1 台当り **9,120 円** の削減になります。
(10,560 円 - 1,440 円 = 9,120 円 / 年)



マシン1台当りセンサ4個(ワークリフトシリンダ:2、スイングクランプ:2)

10工程(マシン10台)では **約36.5万円/年** の削減になります。

本資料の数値は各メーカー発表値に基づき算出しています。